

各委員会の所管事務調査報告

議会運営委員会

予算、決算審議の委員会付託について

視察先

山梨県富士河口湖・市川三郷町

現在ときがわ町議会では、全て本会で審議する運用ですが、予算、決算審議について委員会に付託し審議する手法導入を検討しました。

議員全員で構成する特別委員会への付託、各常任委員会に分けての付託など視察した議会それぞれの手法を研究しましたが、議員定数の少ない町議会においては、全議員が出席できる仕組みが最も効率が良い、議員間で同一の情報共有ができるものであると考えます。全文筆記の委員会会議録作成を行えば、本会議審議と同様に会議の透明性も確保できます。委員付託による審議は所管課説明員の複数人出席が可能となり、細部についての質疑に対して速やかな答弁が期待でき審議の充実が図られます。

このことから予算、決算審議いづれにも特別委員会付託導入を提案します。



総務産業建設常任委員会

指定管理者制度の運用について

視察先 長野県松川村・上田市

指定管理施設の運用の在り方について研究しました。

複数の指定管理施設を視察した中で強く感じたことは、施設経営を成功させる鍵は、経営能力のあるリーダーが必要であるということです。経営戦略や人材管理のマネジメントができる人材がトップに立ち運営していかないと、マンネリ化と衰退のリスクが待ち受けています。

ただし当町には地域コミュニティの柱である施設もあります。経営を重視すべき施設には公募により経営能力に卓越した民間組織の力を借り、地域力の維持を期待したい地元の管理団体には専門家の指導を導入するなどしてその力を引き出していきたい。現在の指定管理施設は貴重な観光資源であり、地域活性化の重要な拠点であることから、今後またゆめ努力を期待したい。



文教厚生常任委員会

小・中学校の今後について

視察先 秩父郡皆野町

少子化が一層進むことが予想される中で、小・中学校の今後の在り方について研究しました。

小規模校の解決策として学校統合は、選択肢の一つですが、本委員会では小規模校の活かし方をまず検討すべきと考えました。

小規模校は、少人数を活かして充実した指導環境が期待できます。個々の学習状況を細やかに把握ができ、施設や設備が余裕をもって利用できる等のメリットがあります。また特色ある学校づくりの面でもチャレンジしやすい環境です。

ただしクラス替えができない少人数の学年では閉塞的な環境が続く憂慮すべき点もあります。それには通学区の自由化やICTの活用等が補完の一助となります。これらの研究と実践により優れた教育環境が期待できます。



編集後記

サッカーワールドカップで、日本は目指した8強入りは果たせなかったが、前回に引き続き16強入りを果たした。日本中を興奮の渦に巻き込んだ監督、選手たちに、月並だが感動をありがとうと言いたい。

新型コロナウイルス感染症は、第8波に入っているようだ。しかも、インフルエンザとの同時流行が懸念されている。気を引き締めて、感染対策をしていく必要がある。

ウクライナでは、極寒の地で自国を守るための戦いが続けられている。それぞれの場所で、それぞれの立場で、頑張ります。

議会報編集委員会

委員長 岩田 鑑郎
副委員長 田中 紀吉

畑 豊
長島 金作
山中 博子

この議会だよりは、議員の自主編集で発行しています。

防災行政無線テレホンサービス（無料）
Tel. 080-0800-8432（携帯電話からも可）

